

# なるほど Q&A

原子力や関連施設、放射線に関するいろいろな疑問について、お答えします。

## Q 放射線から身を守るにはどうすればよいのでしょうか。

**A** 空気や食べ物をとおして体内に取り込んだ放射性物質から放射線を受けることを「内部被ばく」、地面など体の外から放射線を受けることを「外部被ばく」といいます。

### ● 内部被ばくの防護

自然の放射性物質は食べ物にも含まれており、私たちは普段の食事でも内部被ばくを受けているといえます。ただし、 unnecessary 被ばくを防ぐため、原子力災害時には「放射性物質がついている食べ物は摂取しない」「呼吸や傷口から取り込む量をできるだけ少なくする」といった行動が求められます。

### ● 外部被ばくの防護

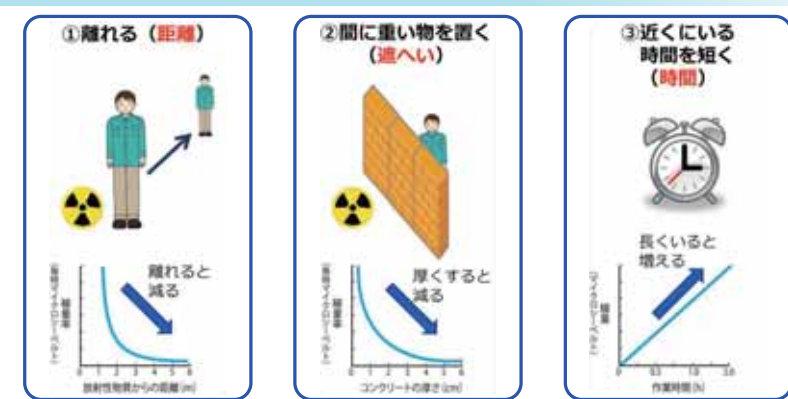
外部被ばくを少なくする方法は3つあります。

- 放射性物質のある場所から離れる…放射線量は距離の2乗に反比例します。
- 放射線をさえぎる…さえぎるものが重い(厚い)ほど放射線の影響は小さくなります。
- 放射線を受ける時間を短くする…放射線量の高いところではすみやかに行動します。

放射線の種類によりものを通り抜ける強さが異なりますが、屋外よりも屋内、さらには木造よりもコンクリートのほうが外部被ばくを減らす効果があるといわれています。

屋内退避には、内部被ばくと外部被ばくの両方を減らす効果があります。気密性の高い建物は防護効果も高いので、仮にコンクリートの建物に退避した場合、放射性ヨウ素であれば外部被ばくを約1/5、内部被ばくを1/20~1/70にできるとされています。

### 線量低減 外部被ばくの低減三原則



【出典】放射線による健康影響等に関する統一した基礎資料 平成25年度版 ver.2013001

原子力災害発生時にも、避難の前段階で屋内退避による防護を行うこととされており、青森県原子力防災訓練でも、医療・福祉施設等で屋内退避訓練を実施しました。

### モニタリングに関するお問合せはこちら

#### ● 青森県環境生活部原子力安全対策課

〒030-8570 青森市長島1-1-1  
TEL: 017-722-1111 (代) 直通: 017-734-9252・9253

#### ● 青森県原子力センター-青森市駐在

〒030-8566 青森市東造道1-1-1 (青森県環境保健センター内)  
TEL: 017-736-5417 (代)

#### ● 青森県原子力センター

〒039-3215 六ヶ所村大字倉内字笹崎400-1  
TEL: 0175-74-2251 (代)

#### ● 青森県原子力センター-東通村駐在

〒039-4292 東通村大字砂子又字沢内5-34 (東通村役場内)  
TEL: 0175-27-2111 (代) (内線281)



編集・発行 青森県環境生活部原子力安全対策課 〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL: 017-734-9252  
発行年月日 平成27年2月18日

このパンフレットは、広報・調査等交付金により作成したものです。この印刷物は71,500部作成し、企画から印刷までの作成経費は一部あたり25円です。



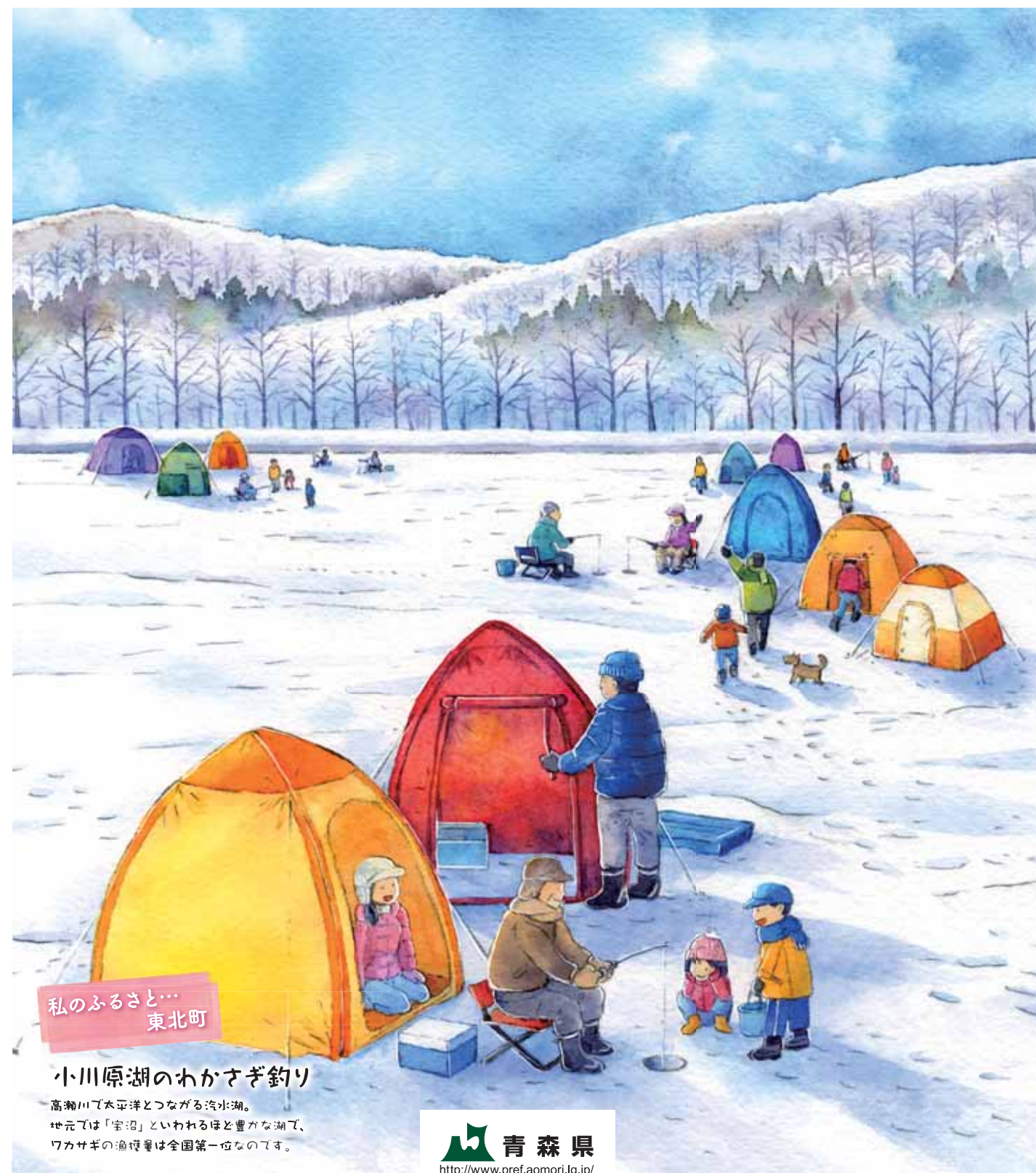
原子力環境だより

# モニタリング つつしん あおもり

No. 95  
2015.2 WINTER  
平成26年度  
第2四半期報

## CONTENTS

- 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果①
- 東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング結果……②
- リサイクル燃料備蓄センターに係る環境放射線モニタリング結果③
- 環境放射線等モニタリングのしくみ……④
- 東通原子力発電所温排水影響調査結果……⑤
- おしらせ～青森県原子力防災訓練を実施しました～……⑩
- なるほどQ&A……⑫





# 原子燃料サイクル施設に係る 環境放射線等モニタリング結果

平成26年度第2四半期(平成26年7月～平成26年9月)の調査結果



平成26年7月～平成26年9月の調査結果は、平成27年1月27日に開催された「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会」で審議され、「概ねこれまでと同じ水準であった」と評価されました。



## 空間放射線

### 空間放射線

人間が体外から受ける空間放射線には、宇宙から降りそそいでくるもの(宇宙線)や、大地などからのものがあります。宇宙線の量は、緯度によって差がありますが、同じ場所であればほとんど変わりありません。また、大地などからの放射線の量は、地質の違いなど場所によって差があります。

空間放射線は、同じ場所であっても、気象条件などによって変動し、特に、雨や雪が降ると一時的に高くなります。また、雪が積もっている冬の間は、大地からの放射線がさえぎられるため、平均的に低くなります。

### 空間放射線量率

1時間当たりの空間放射線量を表します。この調査で使用している測定器は、エネルギーの高い宇宙線を除くようにしているため、グラフに示している空間放射線量率は、主に大地などからの自然の放射線によるものです。

### 積算線量

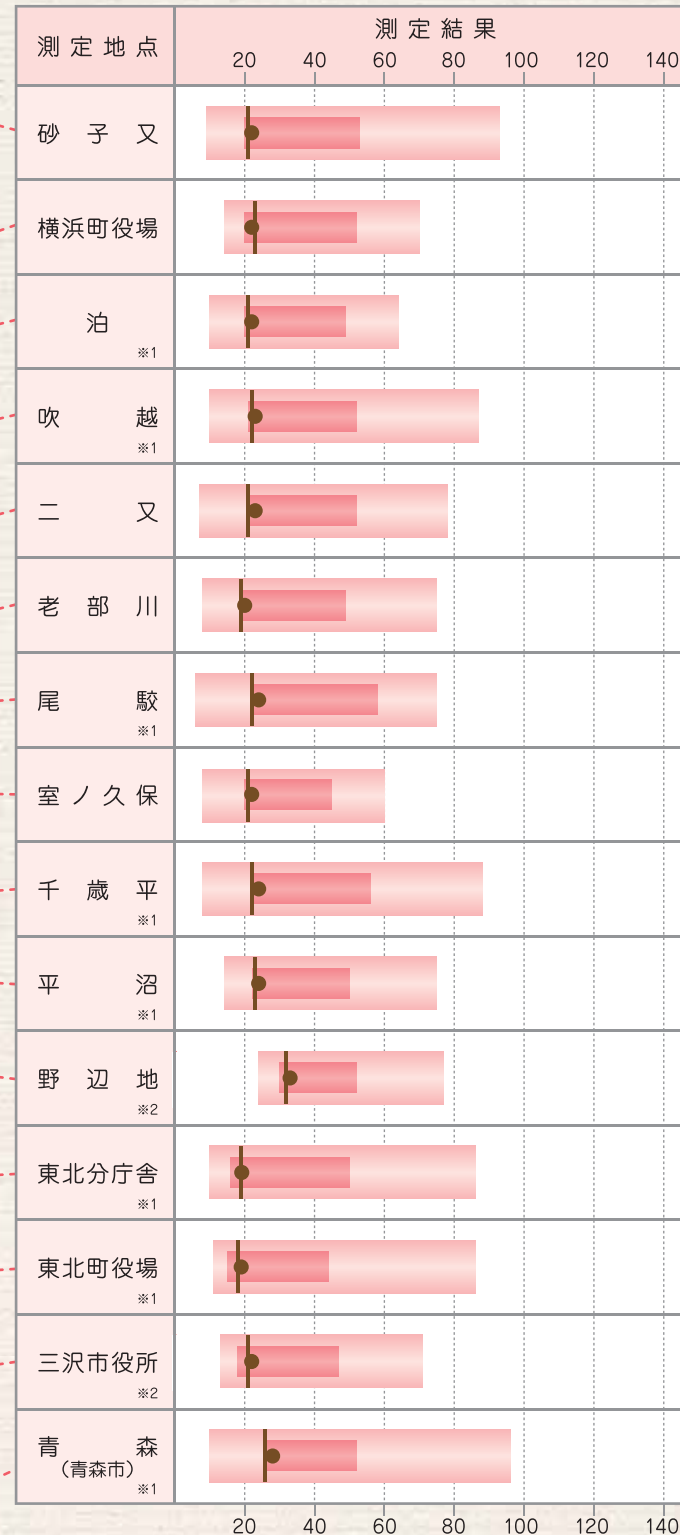
RPLD(蛍光ガラス線量計)をモニタリングポイントに設置し、3か月間の空間放射線の積算量を測定しています。

空間放射線等の測定地点図



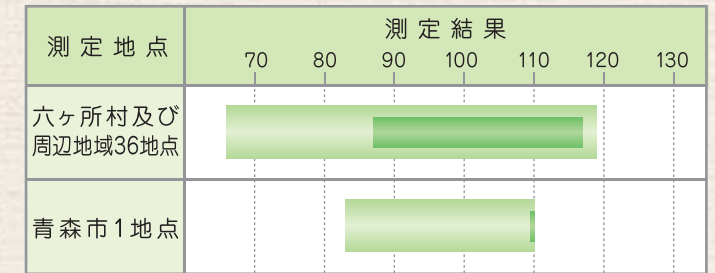
### 1 空間放射線量率

単位：ナノグレイ/時



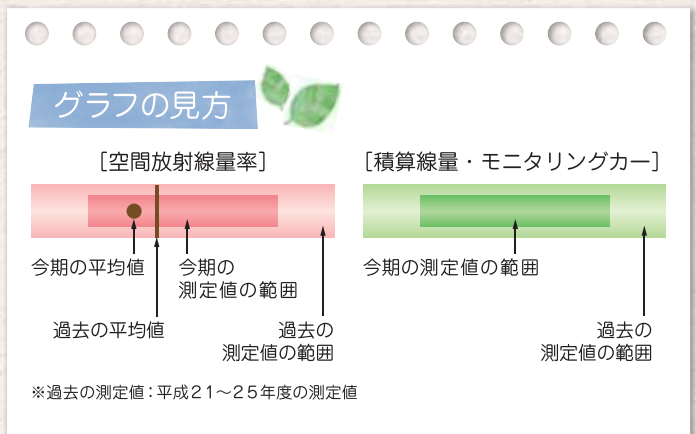
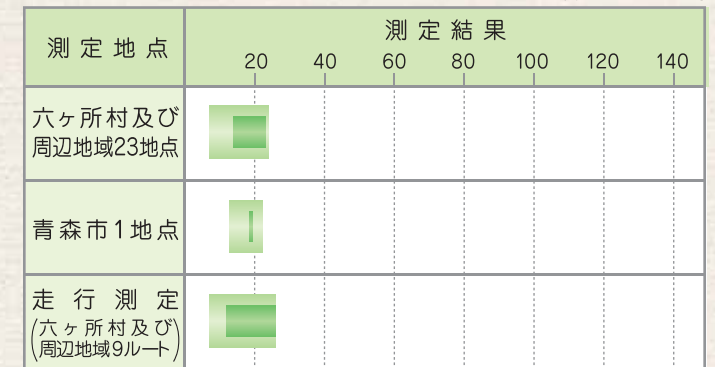
### 2 積算線量

単位：マイクログレイ/91日

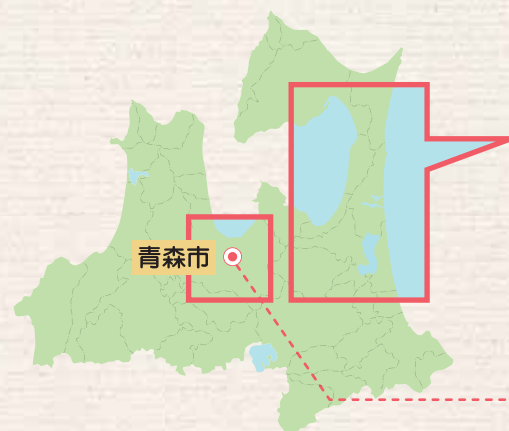


### 3 モニタリングカーによる空間放射線量率

単位：ナノグレイ/時



※1.平成22年度に測定器を更新したため、平成23～25年度の測定値を過去の測定値として記載しています。  
 ※2.平成24年1月に測定局舎等を移設したため、平成24～25年度の測定値を過去の測定値として記載しています。





# 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果

平成26年度第2四半期(平成26年7月~平成26年9月)の調査結果

## 環境試料中の放射能

### グラフの見方

①大気浮遊じん(全アルファ放射能/全ベータ放射能)の場合

今期の測定値の範囲 平成25年度までの測定値の範囲※3  
 検出限界※1以下の測定値は0として表示しています。  
 ※1. 検出限界: 大気浮遊じん中の全アルファ及び全ベータ放射能については、測定条件(採取空気量等)が変動するため、計数誤差の3倍を検出限界として設定しています。

②その他の場合

平成25年度までの測定値の範囲※3  
 定量下限値 今期の測定値の範囲  
 定量下限値※2未満の測定値が含まれる場合、定量下限値未満の範囲をグラデーションで表示しています。  
 ※2. 定量下限値: 測定条件や精度を一定の水準に保つため、試料・測定項目ごとに定めているものです。  
 ※3. 平成23年3月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響と考えられる測定値は除外しています。



## ベクレル(Bq):放射能

放射能は放射線を出す能力のことで、放射能を持つ物質を放射性物質といいます。放射能の強さは1秒間に壊変する原子核の数で表され、ベクレルという単位を用います。私たちの体にも放射性物質が含まれており、例えば、体重60kgの人の体には、炭素-14が約3000ベクレル存在します。

試料の種類	採取時期	記号	測定結果							単位	
			0.0001	0.001	0.01	0.1	1	10	100		400
大気浮遊じん	4, 7, 10, 1月	☼☼☼☼☼	全アルファ放射能	[Bar]							ミリベクレル/立方メートル
			全ベータ放射能	[Bar]							
			セシウム-134	[Bar]							
			セシウム-137	[Bar]							
			ストロンチウム-90	[Bar]							
大気(水蒸気状) 大気(粒子状物質等)	毎月	☀️☁️	トリチウム	[Bar]							ミリベクレル/立方メートル
	4, 7, 10, 1月		フッ素	[Bar]							マイクログラム/立方メートル
			ベータ放射能	[Bar]							キロベクレル/立方メートル
大気(気体状)	連続	☀️☁️	ヨウ素-131	[Bar]							ミリベクレル/立方メートル
			フッ素	[Bar]							ミリベクレル/立方メートル
表土	7月	🌱	セシウム-134	[Bar]							ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	[Bar]							
			ストロンチウム-90	[Bar]							
			ヨウ素-129	[Bar]							
			プルトニウム	[Bar]							
			アメリカシウム-241	[Bar]							
			キュリウム-244	[Bar]							
ウラン	[Bar]										
精米	収穫期1回	🌾	炭素-14	[Bar]							ベクレル/キログラム生
松葉	4, 10月	🌲	セシウム-134	[Bar]							ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar]							
			ウラン	[Bar]							

試料の種類	採取時期	記号	測定結果							単位		
			0.0001	0.001	0.01	0.1	1	10	100		400	
大気浮遊じん	4, 7, 10, 1月	☼☼☼☼☼	全アルファ放射能	[Bar]							ミリベクレル/立方メートル	
			全ベータ放射能	[Bar]								
			セシウム-134	[Bar]								
			セシウム-137	[Bar]								
			ストロンチウム-90	[Bar]								
大気(水蒸気状) 大気(粒子状物質等)	毎月	☀️☁️	トリチウム	[Bar]							ミリベクレル/立方メートル	
	4, 7, 10, 1月		フッ素	[Bar]							マイクログラム/立方メートル	
			ベータ放射能	[Bar]							キロベクレル/立方メートル	
大気(気体状)	連続	☀️☁️	ヨウ素-131	[Bar]							ミリベクレル/立方メートル	
			フッ素	[Bar]							ミリベクレル/立方メートル	
降下物	毎月	☔️	セシウム-134	[Bar]							ベクレル/平方メートル	
			セシウム-137	[Bar]								
			ストロンチウム-90	[Bar]								
			プルトニウム	[Bar]								
			ウラン	[Bar]								
雨水			トリチウム	[Bar]							ベクレル/リットル	
陸水	7, 10月(河川水)	🌊	セシウム-134	[Bar]							ミリベクレル/リットル	
	4, 7, 10, 12月(湖沼水)		セシウム-137	[Bar]								
	4, 7, 10, 1月(水道水, 井戸水)		ストロンチウム-90	[Bar]								
			ストロンチウム-90	[Bar]								
			プルトニウム	[Bar]								
陸土	7, 10月(河底土)	🌱	セシウム-134	[Bar]							ベクレル/キログラム乾	
	10月(湖底土)		セシウム-137	[Bar]								
	7月(表土)		ヨウ素-129	[Bar]								
			プルトニウム	[Bar]								
				アメリカシウム-241	[Bar]							
				キュリウム-244	[Bar]							
				ウラン	[Bar]							
		フッ素	[Bar]									
牛乳(原乳)	4, 7, 10, 1月	🥛	セシウム-134	[Bar]							ベクレル/リットル	
			セシウム-137	[Bar]								
			ストロンチウム-90	[Bar]								
精米	収穫期1回	🌾	セシウム-134	[Bar]							ベクレル/キログラム生	
			セシウム-137	[Bar]								
			炭素-14	[Bar]								
			ストロンチウム-90	[Bar]								
			プルトニウム	[Bar]								
野菜	収穫期1回	🥬	セシウム-134	[Bar]							ベクレル/キログラム生	
			セシウム-137	[Bar]								
			炭素-14	[Bar]								
			ストロンチウム-90	[Bar]								
			プルトニウム	[Bar]								
牧草・デントコーン	5, 8月(牧草)	🌱	セシウム-134	[Bar]							ベクレル/キログラム生	
	収穫期1回(デントコーン)		セシウム-137	[Bar]								
			ストロンチウム-90	[Bar]								
			プルトニウム	[Bar]								
			ウラン	[Bar]								
淡水産生物	漁期1回(ワカサギ, シジミ)	🐟	セシウム-134	[Bar]							ベクレル/キログラム生	
			セシウム-137	[Bar]								
			ストロンチウム-90	[Bar]								
			プルトニウム	[Bar]								
			ウラン	[Bar]								
松葉	4, 10月	🌲	セシウム-134	[Bar]							ベクレル/キログラム生	
			セシウム-137	[Bar]								
			ウラン	[Bar]								
海水	4, 7, 10, 1月	🌊	セシウム-134	[Bar]							ミリベクレル/リットル	
			セシウム-137	[Bar]								
			トリチウム	[Bar]								
			ストロンチウム-90	[Bar]								
			プルトニウム	[Bar]								
海底土	10月	🌱	セシウム-134	[Bar]							ベクレル/キログラム乾	
			セシウム-137	[Bar]								
			ストロンチウム-90	[Bar]								
			プルトニウム	[Bar]								
			アメリカシウム-241	[Bar]								
			キュリウム-244	[Bar]								
			ウラン	[Bar]								
海産生物	漁期1回(ヒラメ, イサナ, アジ, ヒラメ, カニ, コノサザ)	🐟	セシウム-134	[Bar]							ベクレル/キログラム生	
	4, 10月(チガヤ, ムラサキイソギ)		セシウム-137	[Bar]								
			トリチウム	[Bar]								
			ストロンチウム-90	[Bar]								
			プルトニウム	[Bar]								

※平成23年3月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が考えられる。



# 東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング結果

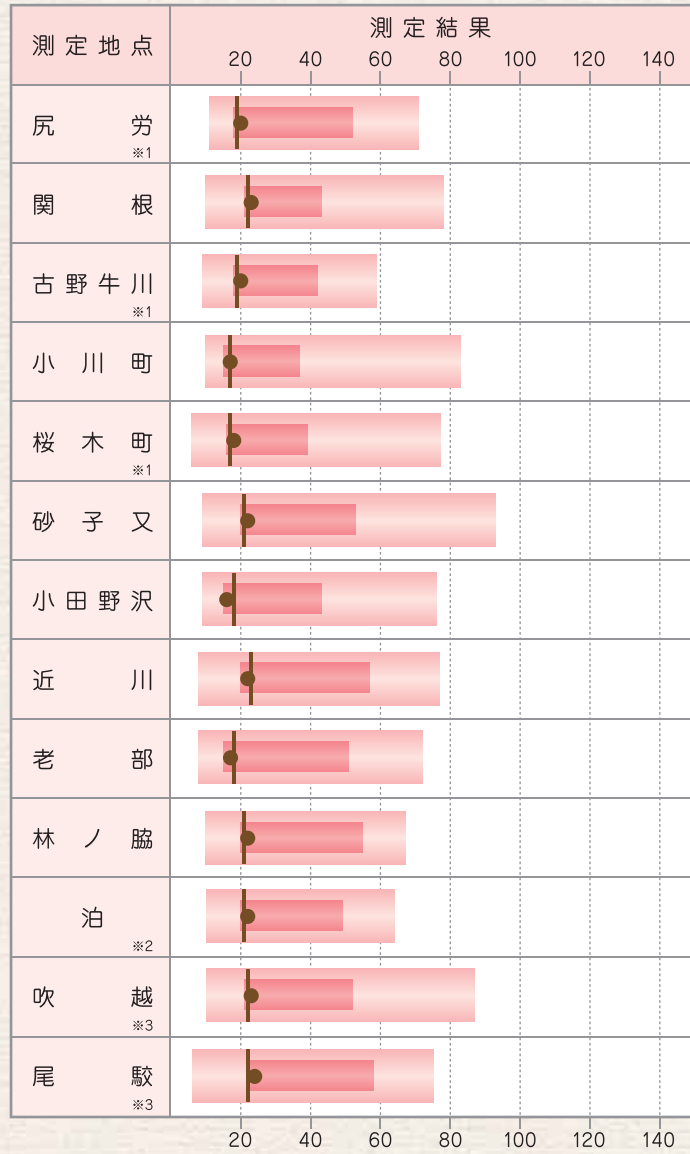
平成26年度第2四半期(平成26年7月~平成26年9月)の調査結果



## 空間放射線

### 1 空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時



※1 平成25年4月に測定を開始しました。  
 ※2 平成22年度に測定器を更新したため、平成23~25年度の測定値を過去の測定値として記載しています。  
 ※3 測定地点を追加し、平成23~25年度の測定値を過去の測定値として記載しています。

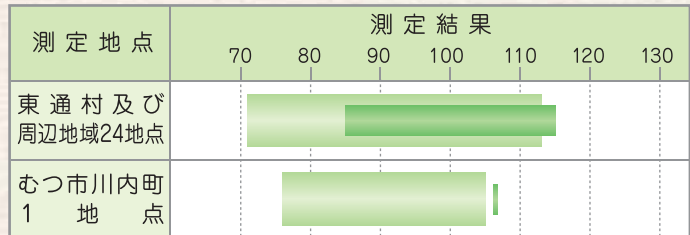


区 分	県	事業者
モニタリングステーション及び積算線量計	●	■
モニタリングポスト及び積算線量計	◆	■
積算線量計	●	●

●: 東北電力株式会社 東通原子力発電所1号機排気筒

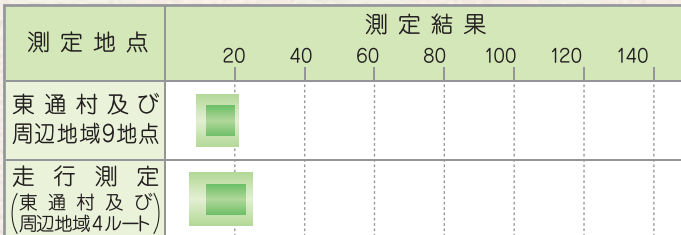
### 2 積算線量

単位: マイクログレイ/91日

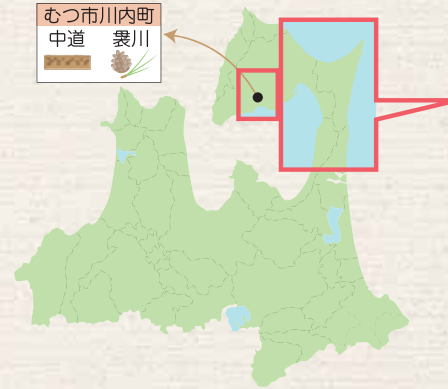


### 3 モニタリングカーによる空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時



平成26年7月~平成26年9月の調査結果は、平成27年1月27日に開催された「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会」で審議され、「概ねこれまでと同じ水準であった」と評価されました。



## 環境試料中の放射能



●: 東北電力株式会社東通原子力発電所1号機排気筒

試料の種類	採取時期	記号	測定結果							単位	
			0.0001	0.001	0.01	0.1	1	10	100		
大気浮遊じん	連続	[Icon]	全ベータ放射能	[Bar chart]							ベクレル/立方メートル
			セシウム-134	[Bar chart]							ミリベクレル/立方メートル
大気(気体状)	連続	[Icon]	ヨウ素-131	[Bar chart]							ミリベクレル/立方メートル
			セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/立方メートル
降下物	毎月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/平方メートル
			セシウム-137	[Bar chart]							
			ストロンチウム-90	[Bar chart]							
			プルトニウム	[Bar chart]							
陸水	4.10月(河川水) 4.7.10.1月(水道水) 7.1月(井戸水)	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ミリベクレル/リットル
			セシウム-137	[Bar chart]							ベクレル/リットル
			トリチウム	[Bar chart]							ベクレル/リットル
表土	7月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	[Bar chart]							
			プルトニウム	[Bar chart]							
精米	収穫期1回	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar chart]							
			ストロンチウム-90	[Bar chart]							
野菜	収穫期1回 (ハレタマ、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、アブラナ)	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar chart]							
			ヨウ素-131	[Bar chart]							
			ストロンチウム-90	[Bar chart]							
牛乳(原乳)	4.7.10.1月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/リットル
			セシウム-137	[Bar chart]							
			ヨウ素-131	[Bar chart]							
牛肉	1月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar chart]							
			ストロンチウム-90	[Bar chart]							
牧草	収穫期2回	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar chart]							
			ヨウ素-131	[Bar chart]							
松葉	5.11月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar chart]							
			ヨウ素-131	[Bar chart]							
			ストロンチウム-90	[Bar chart]							
海水	4.7.10.1月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ミリベクレル/リットル
			セシウム-137	[Bar chart]							
			トリチウム	[Bar chart]							
海底土	7月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	[Bar chart]							
			プルトニウム	[Bar chart]							
海産生物	漁期1回 (ヒラメ、カレイ、ウスメバル、コウアサ、アイナメ、ホタテ、アサリ、コンブ、タコ、ウニ、4.10月(チガイ)、7.1月(ムラサキガイ))	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar chart]							
			ヨウ素-131	[Bar chart]							
			ストロンチウム-90	[Bar chart]							
むつ市川内町	7月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	[Bar chart]							
			プルトニウム	[Bar chart]							
松葉	5.11月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar chart]							
			ストロンチウム-90	[Bar chart]							

※平成23年3月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が考えられる。



# リサイクル燃料備蓄センターに係る 環境放射線モニタリング結果

平成26年度第2四半期(平成26年7月~平成26年9月)の調査結果

## 空間放射線

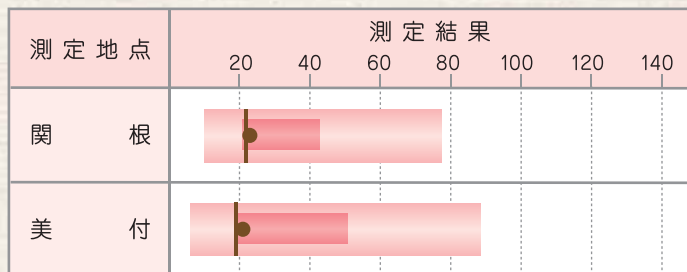
## 環境試料中の放射能

むつ市において、現在リサイクル燃料貯蔵株式会社により「リサイクル燃料備蓄センター」の建設工事が行われています。

県及びリサイクル燃料貯蔵株式会社では、平成20年度から同センターに係る環境放射線の事前調査を実施しています。

### 1 空間放射線量率

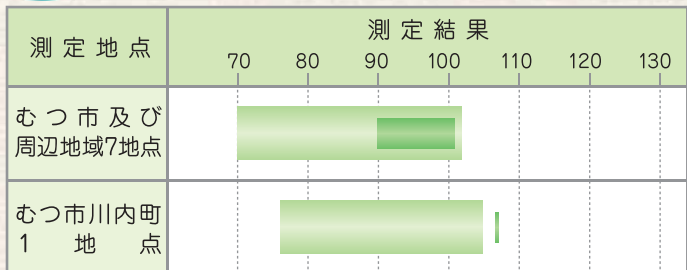
単位:ナノグレイ/時



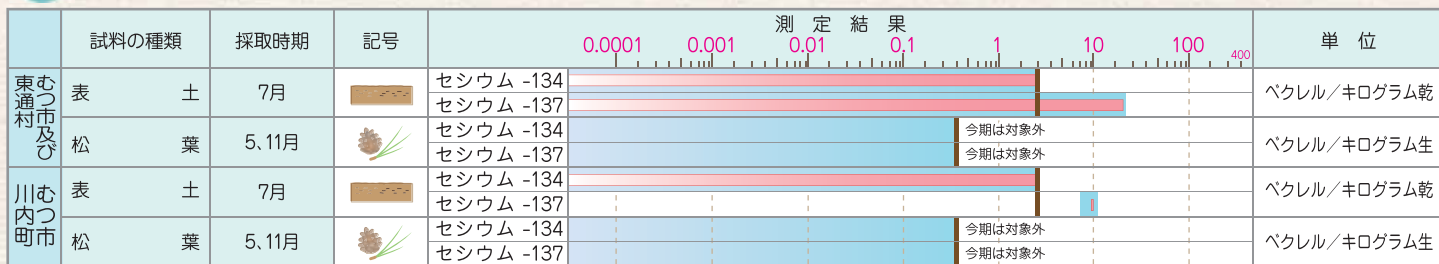
※美付は平成22年度第3四半期から調査を開始しました。

### 2 積算線量

単位:マイクログレイ/91日



### 3 環境試料中の放射能



★グラフの見方は、空間放射線はP2、環境試料中の放射能はP3をご覧ください。

#### グレイ(Gy): 吸収線量

いろいろな物質に放射線があたるとき、吸収される放射線量を数値に表したものです。

#### シーベルト(Sv): 実効線量

放射線や放射能の身体への影響を数値に表したものです。私たちは、自然界から年間平均2.4mSv(ミリシーベルト)の放射線量を浴びています。その他、人工的に浴びる放射線量の一年間の限度は1mSvとされています。

- 1Gy (グレイ)
  - ≡ 1,000mGy (ミリグレイ)
  - ≡ 100万μGy (マイクログレイ)
  - ≡ 10億nGy (ナノグレイ)
- 1Sv (シーベルト)
  - ≡ 1,000mSv (ミリシーベルト)
  - ≡ 100万μSv (マイクロシーベルト)
  - ≡ 10億nSv (ナノシーベルト)



凡例		
区分	県	事業者
モニタリングポスト及び積算線量計	◆	◆
積算線量計	●	●

# 環境放射線等 モニタリングのしくみ

県では、皆さんの健康と安全を守るため、施設から環境への影響をチェックしています。

六ヶ所原子燃料サイクル施設

東通原子力発電所

むつリサイクル燃料備蓄センター

## 1 監視測定



### 原子力センター

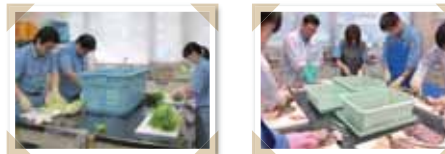
県では、こちらの施設で県内の原子力関連施設から環境に影響があるかどうか常時チェックしています。



### 環境試料中の放射能の測定

水、土、農畜産物、海産物などの環境試料中の放射能を測定します。

#### 1 前処理



#### 2 乾燥・灰化



#### 3 測定・解析



### 空間放射線の測定

原子力施設周辺の空間放射線量率を測定し、公表しています。

#### ●モニタリングステーション



#### ●モニタリングポスト

#### ●モニタリングカー



#### リアルタイムデータの表示

- 青森県庁、原子力センター
- 東通村役場、むつ市役所、横浜町役場、三沢市役所
- 六ヶ所村泊地区ふれあいセンター
- 六ヶ所村文化交流プラザ(スワニー)
- 野辺地町観光物産PRセンター
- 東北町コミュニティセンター

## 2 データの評価・確認

### 青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議

- 学識経験者
- 立地市村・周辺市町村の長
- 関係団体の長
- 知事以下県職員など



## 3 データの公表

広報誌「モニタリングつうしんあおもり」

ラジオ・新聞広告

ホームページ「青森県の原子力安全対策」HPアドレス → <http://www.aomori-genshiryoku.com/>



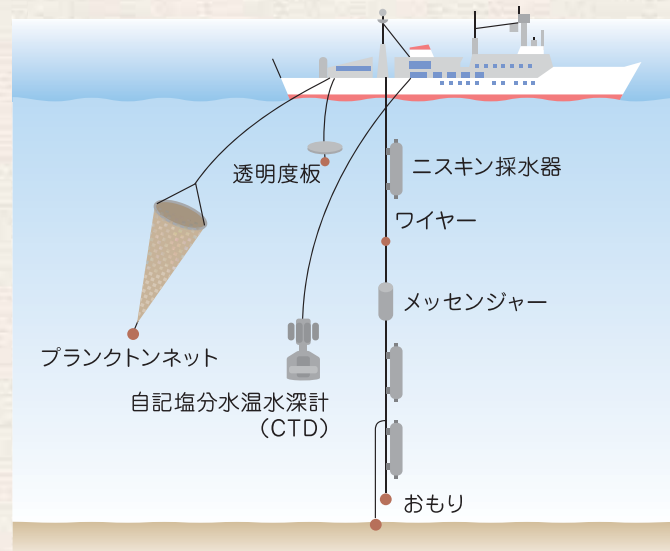
# 東通原子力発電所 温排水影響調査結果

平成26年度第2四半期(平成26年7月～平成26年9月)の調査結果

青森県と東北電力株式会社は、東通原子力発電所の温排水が、施設前面海域及び周辺海域に与える影響を把握するため調査を実施しています。

## 水温・塩分

35調査地点において水温、塩分の測定を行った結果、表層の水温は、19.8～21.2℃、塩分は32.2～33.2の範囲でした。



## 流況

2調査地点において流向、流速の測定を行った結果、北～北北東に向かう流れが大部分で、流速は沿岸沿いで40cm/sまで、沖合で20cm/s以上が大部分でした。

## 海藻草類・底生生物

4調査線において分布状況を調査した結果、サビ亜科等72種の海藻草類と、キンコ科等6種の底生生物(平均個体数5個体/㎡)が確認されました。

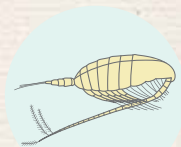
## クロロフィルa

2調査地点において植物プランクトンの量の指標となるクロロフィルa量を測定した結果、0.3～1.9μg/Lの範囲でした。

## 卵・稚仔、プランクトン

8調査地点において魚類の卵、稚仔の出現状況を調査した結果、ネズップ科等の卵の出現が確認されました。また、シロギス、カタクチイワシ等の稚仔の分布が確認されました。

8調査地点において動物プランクトン、6調査地点において植物プランクトンの出現状況を調査した結果、主として節足動物プランクトンと、渦鞭毛植物、ハプト植物、クリプト植物、緑藻植物プランクトンの分布が確認されました。



動物プランクトン



植物プランクトン

## 水質

8調査地点における測定結果は表のとおりでした。

測定項目	単位	測定結果
水素イオン濃度(pH)	—	8.2
化学的酸素要求量(COD)		
酸性法	mg/ℓ	1.3～1.6
アルカリ性法	mg/ℓ	0.3～0.5
溶存酸素量(DO)	mg/ℓ	7.2～7.6
透明度	m	8.5～14.0
浮遊物質(SS)	mg/ℓ	定量下限値未満～2
全窒素(T-N)	mg/ℓ	0.10～0.25
全リン(T-P)	mg/ℓ	0.007～0.013

## 底質

3調査地点における測定結果は表のとおりでした。

測定項目	単位	測定結果
化学的酸素要求量(COD)	mg/g 乾泥	0.3～1.3
強熱減量(IL)	%	1.1～3.0
全硫化物(T-S)	mg/g 乾泥	定量下限値未満

東通原子力発電所温排水影響調査に関するお問合せ先は、右記の機関です。

### 青森県農林水産部水産局水産振興課

〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL 017-722-1111(代)(内4113) 直通 017-734-9592

### 地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所

〒039-3381 東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10 TEL 017-755-2155

お知らせ

# 青森県原子力防災訓練を実施しました

平成26年11月8日に、東北電力株式会社東通原子力発電所において原子力災害が発生したとの想定で、防災体制の確立や防災関係機関相互の連携を図ることを目的として、76機関、約1,400名が参加し、青森県原子力防災訓練を実施しました。

今回の訓練では、医療・福祉施設等における屋内退避や自衛隊ヘリコプターによる受入市町村までの広域避難、県警察による東通原子力発電所から5km圏内立入規制、車両の除染といった内容を新たに取り入れました。

そのほか、昨年度同様、東通原子力発電所から30km圏内に含まれる市町村において、地域の皆さんに参加していただき、青森市または地区の一時避難場所への避難訓練を実施しました。避難先においては、スクリーニングなどの緊急被ばく医療活動のほか、原子力防災に関する講習を行いました。

このほかにも、防災関係機関等が連携し、原子力災害発生時の対応を確認しました。

県では、原子力防災対策の充実のため今後も定期的に訓練を実施していくこととしています。

## 訓練項目

- 住民避難訓練
- 屋内退避訓練
- 地域住民、施設等への情報伝達訓練
- 緊急被ばく医療訓練
- 避難所の設置・運営訓練
- 自治体等の災害対策本部等運営訓練
- 緊急時モニタリング訓練
- 原子力発電所内対応訓練



空間放射線量率等の測定結果はこちらから確認できます。

パソコン用ホームページ <http://gensiryoku.pref.aomori.lg.jp/atom1>

携帯電話用ホームページ <http://gensiryoku.pref.aomori.lg.jp/atom1/m/index.cgi>